科目名	導入教育	年次	1	必修科目	実務経験	科目責任者	海老塚　智
		授業形態	講義		無		
（英）	Introductory education	時間数	15	授業回数	8	開講区分	前期
学科・コース	登録販売者学科	単位	1			曜日/時間	集中

講師紹介	教育業界（医療・福祉・スポーツ）での授業、学生・就職指導、就職支援10年、予備校業界での進路・学習指導等4年の実務経験を有する教員が講義を行う。□ □
目的	1年間安心して学校生活を送るため「安心・安全」の場となり、資格取得や就職内定するための準備を行える。
科目概要	クラス作りのためのグループワークや、学校のルールや1年間の流れの確認を行う。
到達目標	「登録販売者試験」「就職活動」「企業インターンシップ」などの流れを把握し自らの計画を立て、相談できる関係性になる。
評価方法	定期試験および臨時試験（論文・レポート・小テストを含む）、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 □筆記試験　□口頭試験　□実技試験　■その他（　）

教科書	なし	事前事後学習とその内容	各自スケージュール確認を行うこと。
参考図書	なし		
特記事項	なし		

授　業　計　画			
回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	新入生オリエンテーション①	講義	仲間を知り、相互理解をする。
2	新入生オリエンテーション②	講義	学校生活のルール、年間スケジュールを知る。
3	新入生オリエンテーション③	講義	Teams研修①
4	新入生オリエンテーション④	講義	Teams研修②
5	新入生オリエンテーション⑤	講義	グループワークを通じて、「助け合い」「学び合い」「問題解決」を行う。
6	企業研究①	講義	高円寺のドラッグストア、調剤薬局マップを作製しよう！
7	企業研究②	講義	ドラッグストア企業で働くことのイメージを描くために、ドラッグストア企業の人事担当者を講師としてお招きした、業界ガイダンスをおこなう。
8	まとめ	講義	進路選択に間違いがなかったと自信をもち、不安を解消することができる。

科目名	実習前後教育	年次	1	必修科目	実務経験	科目責任者	海老塚　智
		授業形態	講義		なし		
（英）	Practical education	時間数	15	授業回数	8	開講区分	前期
学科・コース	登録販売者学科	単位	1			曜日/時間	集中

講師紹介	教育業界（医療・福祉・スポーツ）での授業、学生・就職指導、就職支援10年、予備校業界での進路・学習指導等4年の実務経験を有する教員が講義を行う。□
目的	くすりアドバイザー実践演習（ドラッグストア現場アルバイト実習）で必要となる、実習生としての態度（身構え・気構え・心構え）を知る。
科目概要	くすりアドバイザー実践演習（ドラッグストア現場アルバイト実習）で必要となる、実習生としての態度（身構え・気構え・心構え）を講義を通して知る。また、実際に勤務する店舗への挨拶をおこなう。さらに実習期間中に必要な、報告書等の提出物、課題について理解する。
到達目標	くすりアドバイザー実践演習（ドラッグストア現場アルバイト実習）で必要となる、実習生としての態度（身構え・気構え・心構え）を知り、具体的な目標を立てる。また、実際に勤務する店舗への挨拶訪問のアポイントをとり、実際に訪問する。
評価方法	定期試験および臨時試験（論文・レポート・小テストを含む）、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 □筆記試験　□口頭試験　□実技試験　■その他（　）

教科書	なし	事前事後学習とその内容	くすりアドバイザー実践演習マニュアル、実習報告書、医薬品等に関するレポートで復習をおこなう。
参考図書	なし		
特記事項	なし		

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	実習生としての身構え・気構え・心構え①	講義	実習生として必要な身構え・気構え・心構えを知る。
2	ビジネス能力	講義	社会人基礎力の向上としてビジネス全般を理解する。
3	ビジネス能力	講義	社会人基礎力の向上としてビジネス全般を理解する。
4	実習前	講義	アルバイト実習に必要な、身構え・気構え・心構えを確認する。
5	実習前	講義	アルバイト実習に必要な、社会人基礎力を確認する。
6	実習生としての身構え・気構え・心構え②	講義	ドラッグストアの店舗で実習生として必要な身構え・気構え・心構えを知る。
7	実習前	講義	勤務先予定の店舗を訪問するため、勤務先企業をWEBサイト等の資料をつかって調べ、企業理念等を前もって理解する。
8	マニュアル説明会②	講義	実習期間中に必要な、報告書等の提出物、課題について理解する。

科目名	薬事関連法規・制度	年次	1	必修科目	実務経験	科目責任者	成田佳祐
		授業形態	講義		有		
（英）	Pharmaceuticals-Laws&Regulations	時間数	15	授業回数	8	開講区分	前期
学科・コース	登録販売者学科	単位	1			曜日/時間	木曜2時限

講師紹介	大学卒業後、ドラッグストアに就職し、調剤とOTCの両方の経験。現在は、調剤薬局で薬剤師として勤務する実務家教員である。現場での経験を活かし「イメージしやすい」をモットーに登録販売者試験合格に向けて、学生と一緒に成長できるよう努力している。
目的	薬事関連法規・制度について説明できる。医薬品に関する法規を理解できる。医薬品に関する制度にはどのようなものがあるか説明できる。
科目概要	登録販売者試験で出題される、「試験問題の作成に関する手引き(令和6年4月)」のうち、薬事関連法規・制度について学習するものである。登録販売者試験に合格できるよう、予習・復習をおこなってください。
到達目標	薬事関連法規・制度について説明できる。医薬品に関する法規を理解できる。医薬品に関する制度にはどのようなものがあるか説明できる。
評価方法	定期試験および臨時試験（論文・レポート・小テストを含む）、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験　□口頭試験　□実技試験　□その他（　　）

教科書	登録販売者試験対策テキスト（じほう）	事前事後学習とその内容	事前動画で予習をおこなう。授業後は教科書で復習を実施すること。
参考図書	なし		
特記事項	なし		

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	薬機法の目的	講義	薬機法の目的を理解する。法律で規定される登録販売者という資格を理解する。医薬品はどのようなものを指すか定義を理解する。
2	医薬品の種類	講義	定義される医薬品のうち個別に確認。一般用医薬品、医療用医薬品、要指導医薬品、毒薬・劇薬、生物由来製品、一般用医薬品のリスク区分についてそれぞれ説明できる。
3	医薬部外品、化粧品、食品	講義	医薬品以外のもの、特に医薬部外品、化粧品、食品について理解する。健康増進法で規定される食品について学習。
4	医薬品販売業について	講義	医薬品を販売できる業態の許可の種類を説明できる。薬局、店舗販売業、配置販売業、卸売販売業について販売相手、他業態との違いを説明できる。
5	中間テスト		
6	医薬品の販売方法、リスク区分、情報提供、特定販売	講義	リスク区分に応じた販売方法、情報提供と陳列について理解する。特定販売について説明でき、必要な注意ができる。
7	医薬品販売に関する法令遵守	講義	販売、広告に関する法令遵守、基準を説明でき、適正な販売につなげられる。行政庁の監視、指導について説明できる。
8	定期試験		

科目名	医薬品に共通する特性と基本的な知識	年次	1	必修科目	実務経験	科目責任者	中村麻美
		授業形態	講義		有		
（英）	Basic knowledge of Pharmaceuticals	時間数	15	授業回数	8	開講区分	前期
学科・コース	登録販売者学科	単位	1			曜日/時間	水曜1時限

講師紹介	滋慶学園グループ校を卒業後、登録販売者としてドラッグストアで医薬品・健康相談に従事している実務経験豊富な講師である。医薬品の基礎知識を習得する授業を行う。
目的	登録販売者試験の1章の内容を理解し、医薬品に共通する特性と基本的な知識を身につける。
科目概要	登録販売者試験の1章の内容。実際の試験は、このセクションから20問出題される。基本的な内容なので9割は点がとれる範囲である。
到達目標	医薬品の本質、効き目や安全性に影響を与える要因などについて理解する。購入者からの相談に対して、医療機関への受診勧奨などの適切な助言を行えるようになる。 薬害の歴史を理解し、医薬品の本質などを踏まえた適切な販売ができるようになる。
評価方法	定期試験および臨時試験（論文・レポート・小テストを含む）、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験　□口頭試験　□実技試験　□その他（　）

教科書	登録販売者試験対策テキスト	事前事後学習とその内容	復習としてテキストを読んでおく。 テキスト確認問題を解く。配布した問題は繰り返し解いてみる。
参考図書	なし		
特記事項	なし		

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	医薬品の本質	講義	医薬品の本質を理解する
2	医薬品の本質	講義	医薬品のリスク評価を理解する
3	医薬品の効き目や安全性に影響を与える要因を理解する	講義	医薬品の副作用を理解する
4	医薬品の効き目や安全性に影響を与える要因	講義	医薬品の飲みあわせを理解する
5	医薬品の効き目や安全性に影響を与える要因	講義	医薬品の使用に際して注意が必要な人について理解する
6	適切な医薬品選択と受診勧奨	講義	適切な医薬品選択と受診勧奨を理解する
7	薬害の歴史	講義	薬害の歴史を理解する
8	定期試験		定期試験：誤文訂正問題80点/中間試験20点分は小テストで実施し、20点に換算する。

科目名	人体の働きと医薬品	年次	1	必修科目	実務経験	科目責任者	成田佳祐
		授業形態	講義		有		
（英）	The Operation of the Human Body and Pharmaceuticals	時間数	45	授業回数	23	開講区分	前期
学科・コース	登録販売者学科	単位	3			曜日/時間	木曜1限

講師紹介	大学卒業後、ドラッグストアに就職し、調剤とOTCの両方の経験。現在は、調剤薬局で薬剤師として勤務している実務教員である。現場での経験を活かし「イメージしやすい」をモットーに登録販売者試験合格に向けて、学生と一緒に成長できるよう努力している。
目的	人体の構造とその働き、薬が働く仕組みを説明できる。
科目概要	登録販売者試験で出題される、「試験問題の作成に関する手引き(令和6年4月)」のうち、人体の働きと医薬品について学習するものである。
到達目標	人体の構造とその働きについて説明できる。薬が働く仕組みを説明できる。主な副作用にはどのようなものがあり、対処・対応が説明できる。
評価方法	定期試験および臨時試験（論文・レポート・小テストを含む）、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験　□口頭試験　□実技試験　□その他（　　）

教科書	登録販売者試験対策テキスト（じほう）	事前事後学習とその内容	テキスト、動画、課題を中心に予習復習をおこなう。
参考図書	なし		
特記事項	なし		

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1・2	胃・腸、肝臓、肺、心臓、腎臓などの内臓器官①	講義	消化器系①の構造と働きを理解する。
3・4	胃・腸、肝臓、肺、心臓、腎臓などの内臓器官②	講義	消化器系②の構造と働きを理解する。
5・6	胃・腸、肝臓、肺、心臓、腎臓などの内臓器官③	講義	呼吸器系、循環器系の構造と働きを理解する。
7・8	胃・腸、肝臓、肺、心臓、腎臓などの内臓器官④	講義	泌尿器系を理解する。
9・10	目、鼻、耳などの感覚器官	講義	目、鼻、耳の構造と働きを理解する。
11	中間テスト		
12・13	皮膚、骨、関節、筋肉などの運動器官	講義	外皮系、骨格系、筋組織の構造と働きを理解する。
14・15	脳や神経系の働き	講義	中枢神経系、末梢神経系の構造と働きを理解する。
16・17	薬の生体内運命、薬の体内での働き	講義	薬が働く仕組みのうち、薬の生体内運命と体内での働きについて理解する。
18・19	剤形ごとの違い、適切な使用方法	講義	医薬品の剤形ごとの違いや特徴、適切な使用方法を理解する。
20・21	全身的、精神神経系に現れる副作用	講義	早期発見・早期対応のため、重篤な副作用のうち、全身的に現れる副作用、精神神経系に現れる副作用について理解する。
22	局所に現れる副作用	講義	早期発見・早期対応のため、重篤な副作用のうち、消化器系、呼吸器系、循環器系、泌尿器系、感覚器系、皮膚に現れる副作用を理解する。
23	定期試験		

科目名	主な医薬品とその作用	年次	1	必修科目	実務経験	科目責任者	渡邉隆
		授業形態	講義		有		
（英）	The Function of Nonprescription Drugs	時間数	60	授業回数	30	開講区分	前期
学科・コース	登録販売者学科	単位	4			曜日/時間	火曜1，2時限

講師紹介	薬剤師としてドラッグストアに併設されている薬局に勤務し、調剤業務や服薬指導に携わる一方、一般用医薬品の販売も積極的におこない、登録販売者へのアドバイスをおこなっている、実務教員である。
目的	主な医薬品とその作用、及び薬が働く仕組みを説明できる。主な副作用への対処・対応が説明できる。
科目概要	登録販売者試験で出題される、「試験問題の作成に関する手引き(平成30年3月)」のうち、主な医薬品とその作用について学習するものである。登録販売者試験に合格できるよう、動画による予習・復習をおこなってください。
到達目標	主な医薬品とその作用について説明できる。薬が働く仕組みを説明できる。主な副作用にはどのようなものがあり、対処・対応が説明できる。
評価方法	定期試験および臨時試験（論文・レポート・小テストを含む）、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験　□口頭試験　□実技試験　□その他（　　）

教科書	登録販売者試験対策テキスト（じほう）	事前事後学習とその内容	テキストと動画、課題等を使用した予習復習を実施すること。
参考図書	なし		
特記事項	なし		

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1・2	主な医薬品とその作用	講義	登録販売者試験対策　第3章主な医薬品とその作用①
3・4	主な医薬品とその作用	講義	登録販売者試験対策　第3章主な医薬品とその作用②
5・6	主な医薬品とその作用	講義	登録販売者試験対策　第3章主な医薬品とその作用③
7・8	主な医薬品とその作用	講義	登録販売者試験対策　第3章主な医薬品とその作用④
9・10	主な医薬品とその作用	講義	登録販売者試験対策　第3章主な医薬品とその作用⑤
11・12	主な医薬品とその作用	講義	登録販売者試験対策　第3章主な医薬品とその作用⑥
13・14	主な医薬品とその作用	講義	登録販売者試験対策　第3章主な医薬品とその作用⑦
15	主な医薬品とその作用	講義	登録販売者試験対策　第3章主な医薬品とその作用⑧
16	中間テスト		
17・18	主な医薬品とその作用	講義	登録販売者試験対策　第3章主な医薬品とその作用⑨
19・20	主な医薬品とその作用	講義	登録販売者試験対策　第3章主な医薬品とその作用⑩
21・22	主な医薬品とその作用	講義	登録販売者試験対策　第3章主な医薬品とその作用⑪
23・24	主な医薬品とその作用	講義	登録販売者試験対策　第3章主な医薬品とその作用⑫
25・26	主な医薬品とその作用	講義	登録販売者試験対策　第3章主な医薬品とその作用⑬
27・28	主な医薬品とその作用	講義	登録販売者試験対策　第3章主な医薬品とその作用⑭
29	主な医薬品とその作用	講義	登録販売者試験対策　第3章主な医薬品とその作用⑮
30	定期試験		

科目名	医薬品の適正使用・安全対策	年次	1	必修科目	実務経験	科目責任者	中村麻美
		授業形態	講義		有		
（英）	Pharmaceuticals-Correct Use&Safety Measures	時間数	15	授業回数	8	開講区分	前期
学科・コース	登録販売者学科	単位	1			曜日/時間	水曜2時限

講師紹介	滋慶学園グループ校を卒業後、登録販売者としてドラッグストアで医薬品・健康相談に従事している実務経験豊富な講師である。医薬品の基礎知識を習得する授業を行う。
目的	添付文書情報、副作用報告制度、副作用被害救済制度に関する基本的な知識を身につける。
科目概要	副作用報告制度、副作用被害救済制度に関する基本的な知識を身につける。 登録販売者試験の5章の内容。
到達目標	添付文書の内容を理解する。医薬品の副作用等に関する厚生労働大臣への必要な報告が行えるようにする。 医薬品を適正に使用したにもかかわらず、その副作用で重篤な健康被害が生じた購入者に、副作用被害救済の制度を紹介し、制度の仕組みや申請窓口等について説明できる。
評価方法	定期試験および臨時試験（論文・レポート・小テストを含む）、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験　□口頭試験　□実技試験　□その他（　）

教科書	登録販売者試験対策テキスト	事前事後学習とその内容	復習としてテキストを読んでおく。 テキスト確認問題を解く。配布した問題は繰り返し解いてみる。
参考図書	なし		
特記事項	なし		

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	医薬品の適正使用情報	講義	医薬品の添付文書について理解する
2	医薬品の適正使用情報	講義	医薬品の添付文書について理解する
3	医薬品の適正使用情報	講義	医薬品の適正使用情報について理解する
4	医薬品の適正使用情報	講義	医薬品の適正使用情報について理解する
5	医薬品の安全対策	講義	医薬品の副作用救済制度について理解する
6	医薬品の安全対策	講義	医薬品の安全対策について理解する
7	別表	講義	別表について理解する
8	定期試験		定期試験：誤文訂正問題80点/中間試験20点分は小テストで実施し、20点に換算する

科目名	ドラッグストア商品知識	年次	1	必修科目	実務経験	科目責任者	中村麻美
		授業形態	講義		有		
（英）	Drug store product knowledge	時間数	60	授業回数	30	開講区分	後期
学科・コース	登録販売者学科	単位	4			曜日/時間	月曜1,2時限目

講師紹介	滋慶学園グループ校を卒業後、登録販売者としてドラッグストアで医薬品・健康相談に従事している実務経験豊富な講師である。医薬品の基礎知識を習得する授業を行う。
目的	登録販売者試験の学習で学んだ医薬品の基礎知識を生かし、ドラッグストアでの接客や健康アドバイスにおいて、商品知識を増やすことで自信をもって対応できることを目指す。
科目概要	医薬品、化粧品メーカーの担当者に授業を担当していただく。各メーカーの定番商品または最新商品の紹介をおこなう。
到達目標	登録販売者ができるよりよい業務や接客を考え、くすりアドバイザー実践演習で実際に試行してみる。医薬品や健康食品に関する商品知識を身につける。
評価方法	定期試験および臨時試験（論文・レポート・小テストを含む）、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験　□口頭試験　□実技試験　□その他（　　）

教科書	なし	事前事後学習とその内容	毎回の実習での気付きを、報告書等に記録し振り返る。
参考図書	なし		
特記事項	なし		

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1・2	オリエンテーション	講義	ドラッグストア現場では、医薬品の基礎知識を基礎に、商品に関する知識やアドバイスが重要となり、接客での対応について、身構え気構え心構えの重要さを知る。
3・4	ドラッグストア商品知識①	講義	登録販売者試験で出題された、医薬品の成分などについて、実際の接客場面で多く遭遇する対応事例を学ぶ。
5・6	ドラッグストア商品知識②	講義	登録販売者試験で出題された、医薬品の成分などについて、実際の接客場面で多く遭遇する対応事例を学ぶ。
7・8	ドラッグストア商品知識③	講義	医薬品、化粧品メーカーの最新商品や定番商品をご紹介いただき、実際に商品を手に取って、使用感や形状などを実感することができる。
9・10	ドラッグストア商品知識④	講義	医薬品、化粧品メーカーの最新商品や定番商品をご紹介いただき、実際に商品を手に取って、使用感や形状などを実感することができる。
11・12	ドラッグストア商品知識⑤	講義	医薬品、化粧品メーカーの最新商品や定番商品をご紹介いただき、実際に商品を手に取って、使用感や形状などを実感することができる。
13・14	ドラッグストア商品知識⑥	講義	医薬品、化粧品メーカーの最新商品や定番商品をご紹介いただき、実際に商品を手に取って、使用感や形状などを実感することができる。
15・16	ドラッグストア商品知識⑦	講義	医薬品、化粧品メーカーの最新商品や定番商品をご紹介いただき、実際に商品を手に取って、使用感や形状などを実感することができる。
17・18	ドラッグストア商品知識⑧	講義	医薬品、化粧品メーカーの最新商品や定番商品をご紹介いただき、実際に商品を手に取って、使用感や形状などを実感することができる。
19・20	ドラッグストア商品知識⑨	講義	医薬品、化粧品メーカーの最新商品や定番商品をご紹介いただき、実際に商品を手に取って、使用感や形状などを実感することができる。
21・22	ドラッグストア商品知識⑩	講義	医薬品、化粧品メーカーの最新商品や定番商品をご紹介いただき、実際に商品を手に取って、使用感や形状などを実感することができる。
23・24	ドラッグストア商品知識⑪	講義	医薬品、化粧品メーカーの最新商品や定番商品をご紹介いただき、実際に商品を手に取って、使用感や形状などを実感することができる。
25・26	ドラッグストア商品知識⑫	講義	医薬品、化粧品メーカーの最新商品や定番商品をご紹介いただき、実際に商品を手に取って、使用感や形状などを実感することができる。
27・28	ドラッグストア商品知識⑬	講義	メーカー様の商品説明を受けて、商品の概要を理解し、商品販売のポイント、使用上の注意事項を適切にアドバイスできるようレポートにまとめる。
29・30	ドラッグストア商品知識⑮	講義	自信をもって説明できる商品を増やし、お客様のニーズにより沿ったアドバイスができるよう、自身で設定した課題に取り組む。

科目名	調剤アシスタント演習	年次	1	選択必修	実務経験	科目責任者	渡邉隆
		授業形態	演習		有		
（英）	Dispensing Assistant Practice	時間数	15	授業回数	8	開講区分	後期
学科・コース	登録販売者学科	単位	1			曜日/時間	木曜1限

講師紹介	薬剤師としてドラッグストアに併設されている薬局に勤務し、調剤業務や服薬指導に携わるなど豊富な実務経験を有する。また、一般用医薬品の販売も積極的におこない、登録販売者へのアドバイスをおこなっている、実務教員である。
目的	薬局で薬剤師のアシスタントがどのようにおこなわれているかを知る。調剤報酬請求事務の仕組みを知る。
科目概要	薬局で調剤業務のアシスタントをする上での注意すべき点が理解できる。調剤報酬請求事務の概要を学ぶ。
到達目標	調剤業務のアシスタント業務や薬剤師のアシスタント業務の概要を理解できる。調剤報酬請求事務の概要を学び、調剤報酬請求事務の基本が身につく。
評価方法	定期試験および臨時試験（論文・レポート・小テストを含む）、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験　□口頭試験　□実技試験　□その他（　　）

教科書	特になし	事前事後学習とその内容	授業の復習を毎回実施すること
参考図書	特になし		
特記事項	特になし		

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	オリエンテーション	演習	この科目の目的と授業の進め方
2	薬局業務の基礎知識	演習	基礎と保険制度
3	処方箋と薬の基礎知識	演習	処方箋の取り扱いと薬の種類
4	受付業務と調剤補助業務の基礎知識　①	演習	受付業務
5	受付業務と調剤補助業務の基礎知識　②	演習	調剤報酬の仕組み①
6	受付業務と調剤補助業務の基礎知識　③	演習	調剤報酬の仕組み②
7	レセプト業務の基礎知識	演習	レセプト請求の仕組み
8	定期試験		調剤アシスタント認定テスト

科目名	コスメ&スキンケアアドバイザー演習	年次	1	選択必修	実務経験	科目責任者	深井　ルミ
		授業形態	演習		有		
（英）	Cosmetics ＆Skin care Advisor Practice	時間数	15	授業回数	8	開講区分	後期
学科・ｺｰｽ	登録販売者学科	単位	1			曜日/時間	12/9～1/27 火曜日1.2限

講師紹介	25年以上メイクアップの仕事に携わる豊富な実務経験を有する。また、複数の美容専門学校で15年以上メイク技術、化粧品、肌知識、スキンケア知識の授業を担当。基礎知識以外にも美容の楽しさやトレンドなどを伝えていくことも重要と考える。JESC検定の問題作成、テキスト「Basic Makeup」の監修、ヘアメイクにも携わる。
目的	ヘアメイク実務経験のある講師から肌の知識や化粧品知識を学ぶ。
科目概要	ドラッグストアでのコスメ販売・接客に必要な美容の知識の習得
到達目標	肌の構造、肌悩み、スキンケア商品、メイクアップ商品に関する知識を習得し、お客様のニーズにマッチした商品紹介、アドバイスが出来るようになる。
評価方法	定期試験および臨時試験（論文・レポート・小テストを含む）、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験　□口頭試験　□実技試験　□その他（　　）

教科書	なし	事前事後学習とその内容	学んだ経験を活かし、自身が使用しているアイテムと比較するなど実践することをおススメする。
参考図書	なし		
特記事項	メモを取れる端末やノート類、筆記用具　持参 授業毎の持ち物についてはコマシラバス要確認		

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	12月9日　オリエンテーション / 化粧品について	講義	自己紹介　この授業について　化粧品・医薬品・医薬部外品について　クレンジング料　洗顔料　化粧水　美容液　乳液　クリーム
2	12月9日　肌の構造	講義	肌の構造　ターンオーバーについて
3	2025/12/23　肌のお悩みとお手入れ方法、最適な成分	講義	肌のお悩み(乾燥)　乾燥に適したお手入れ方法　保湿成分
4	2025/12/23　肌のお悩みとお手入れ方法、最適な成分	講義	肌のお悩み(ニキビ)　ニキビのできるメカニズム　ニキビの種類　ニキビに適したお手入れ方法　ニキビ予防成分
5	2025/1/20　肌のお悩みとお手入れ方法、最適な成分	講義	肌のお悩み(シミ)　シミのできるメカニズム　シミの種類　シミに適したお手入れ方法　美白成分
6	2025/1/20　肌のお悩みとお手入れ方法、最適な成分	講義	紫外線吸収剤・紫外線散乱剤、サンケアアイテムの種類と特徴
7	2025/1/27　肌のお悩みとお手入れ方法、最適な成分　メイクアイテムについて	講義	肌のお悩み(シワ)　シワの種類　シワに適したお手入れ方法　抗酸化成分　レチノールについて　メイクアイテムについて
8	1月27日　メイクアイテムについて　定期試験90点	講義	メイクアイテムについて　筆記試験

科目名	接客心理学＆接客技術	年次	1	選択必修	実務経験	科目責任者	太田墨
		授業形態	講義		有		
（英）	service psychology & technique	時間数	15	授業回数	8	開講区分	後期
学科・コース	登録販売者学科	単位	1			曜日/時間	木曜 1・2限

講師紹介	登録販売者資格取得後、大手ドラッグストア勤務を経て、登録販売者試験の試験対策講座の教材作成、講師を歴任している、豊富な経験を有する実務家教員である。
目的	ドラッグストア店舗での医薬品接客力を向上させるため、心理学的アプローチから、顧客が安心して相談できる対応を知る。
科目概要	接客心理学講座検定3級を目標として、その検定内容を学習する。そのことを通じてドラッグストア店舗での接客スキルを向上させる。
到達目標	販売心理や顧客心理について理解できる。店舗での実践にいかせるように、実習店舗をイメージしながら学習ができる。そして実習店舗で実践する。
評価方法	定期試験および臨時試験（論文・レポート・小テストを含む）、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験　□口頭試験　□実技試験　□その他（　　）

教科書	接客心理検定テキスト	事前事後学習とその内容	テキストを使用した、授業前後の予習、復習を実施すること。
参考図書	なし		
特記事項	なし		

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	商品属性の研究①	講義	属性名と属性値、属性値の決定、誰でも知っている商品情報、属性値の決定、属性値を購買プロセスに組み込むことを理解する。
2	商品属性の研究②	講義	一律な属性値をストーリー化する、認知スキーマと属性値、認知バイアスとバナーム（フォアラー効果）、ニュールック心理学の販売における基礎知識、記憶について理解する。
3	情報とコミュニケーションの区分	講義	正しい言葉遣い、情報とコミュニケーション、談話能力（Fact-Act）を理解する。 社会言語能力、方略的言語能力を理解する。
4	接客コミュニケーションテクニック①	講義	ポジティブハロー、単純接触の原理（ザイアンス効果）、初頭効果と近親効果、OATH理論、マズローの段階欲求説、コントラストをつける、価値基準が引っ張られる効果を理解する。
5	接客コミュニケーションテクニック②	講義	スウェイ、損失回避、コミットメント、価値基準先行、サービスと接客、接客距離、笑顔の接客、返報性と好意の法則について理解する。
6	接客コミュニケーションテクニック③	講義	ゲーミフィケーション、カクテルパーティ効果、カタルシス効果、小さい提案から始める、大きい提案から始める、アップセル、ダウンセル、クロスセルについて理解する。
7	接客コミュニケーションテクニック④	講義	テンション・リダクション、バンドワゴン、ヒューリスティックバイアス、希少性の原理、空間心理・色彩心理、自己成熟、認知的不協和、文脈効果、シャルパンティエ、ハード・トゥ・ゲット、フォールス・コンセンサス、ダブルバインド、ボディランゲージを理解する。
8	定期試験		

科目名	リベラルアーツ演習	年次	1	必修科目	実務経験	科目責任者	海老塚　智
		授業形態	演習		無		
（英）	Liberal Arts Practice	時間数	30	授業回数	15	開講区分	後期
学科・コース	登録販売者学科	単位	2			曜日/時間	集中

講師紹介	教育業界（医療・福祉・スポーツ）での授業、学生・就職指導、就職支援10年、予備校業界での進路・学習指導等4年の実務経験を有する教員が講義を行う。□
目的	「リベラルアーツ」物事を多角的に捉え、柔軟に考え行動し成果につなげることができる人材になる。
科目概要	小売・販売・接客業でのインターン体験を通して起こった問題、成功体験、クレームなどのケーススタディをもとにグループワークを通じPDCAサイクルをまわし問題解決を行う。
到達目標	本授業と「企業インターンシップ」が連携し、より現場で活躍できる登録販売者になる
評価方法	定期試験および臨時試験（論文・レポート・小テストを含む）、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 □筆記試験　□口頭試験　□実技試験　■その他（　）

教科書	なし	事前事後学習とその内容	授業後の振り返りシートの提出を行う。
参考図書	なし		
特記事項	なし		

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	オリエンテーション	講義	リベラルアーツとは？本授業の目的
2	ケーススタディ　準備①	演習	ケーススタディの進め方、「効果的な聞き方・話し方」
3	ケーススタディ　準備②	演習	多様な見方と考え方、ブレインストーミングと問題解決
4	ケーススタディ　模擬	演習	模擬ケーススタディ
5	ケーススタディ	演習	インターンでの経験内容の共有と対策
6	ケーススタディ	演習	インターンでの経験内容の共有と対策
7	ケーススタディ	演習	インターンでの経験内容の共有と対策
8	ケーススタディ	演習	インターンでの経験内容の共有と対策
9	ケーススタディ	演習	インターンでの経験内容の共有と対策
10	ケーススタディ	演習	インターンでの経験内容の共有と対策
11	ケーススタディ	演習	インターンでの経験内容の共有と対策
12	ケーススタディ	演習	インターンでの経験内容の共有と対策
13	学びのまとめ	演習	ここまでの学びや気づきを1人5分のプレゼン作成
14	発表と共有	演習	プレゼン発表①
15	発表と共有	演習	プレゼン発表②

科目名	企業インターンシップ	年次	1	必修科目	実務経験	科目責任者	海老塚　智
		授業形態	演習		無		
（英）	Corporate Internship	時間数	300	授業回数	160	開講区分	後期
学科・コース	登録販売者学科	単位	20			曜日/時間	集中

講師紹介	教育業界（医療・福祉・スポーツ）での授業、学生・就職指導、就職支援10年、予備校業界での進路・学習指導等4年の実務経験を有する教員が講義を行う。□
目的	小売・販売・接客業にて接客、接遇の現場を体験し、登録販売者試験の学習の過程で学んだ医薬品の知識・その他、接客技術やお客様とのコミュニケーション能力を高め、仕事のやりがいを感じ、自身をもって就職していくことを目的とする。
科目概要	小売・販売・接客業での体験を通して以下について学ぶ ・接客、接遇の重要性を学ぶ ・登録販売者試験の学習の過程で学んだ医薬品の知識を深める。
到達目標	店舗運営の概要を理解し、小売店接客・接遇を身に着ける。
評価方法	定期試験および臨時試験（論文・レポート・小テストを含む）、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 □筆記試験　□口頭試験　□実技試験　■その他（　）

教科書	なし	事前事後学習とその内容	毎月の報告書と医薬品レポートを課す。
参考図書	なし		
特記事項	なし		

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1～2	オリエンテーション	演習	各企業で行うアルバイト実習の準備を行う。
3～30	有償インターンシップ	演習	各企業が設定するアルバイト賃金を支給していただくことで、責任感をもって仕事をする体験をする。
31～120	接客実務経験	演習	登録販売者の管理者要件である、1920時間の実務（業務）経験となるアルバイト実習をおこなう。
121～130	報告書	演習	毎月、勤務時間と勤務態度の振り返りをする報告書を提出。
131～150	医薬品レポート	演習	医薬品の商品を40品目とりあげ、添付文書等を参考にしてレポートを作成する。
151～152	実習先訪問	演習	教職員が実習先の店舗を訪問し、現地指導をおこなう。
153～156	実習指導者評価	演習	毎月の報告書に実習指導者による評価をおこなう。
157～160	実習後教育	演習	評価表をもとに振り返りをおこなう。

科目名	登録販売者試験対策講座Ⅰ	年次	1	必修科目	実務経験	科目責任者	渡邉隆
		授業形態	講義		有		
（英）	Registered Pharmaceutical Vendor License Examination Preparation Ⅰ	時間数	30	授業回数	15	開講区分	前期
学科・コース	登録販売者学科	単位	2			曜日/時間	月曜1,2時限

講師紹介	薬科大学を卒業後、薬剤師として研究に従事し、その後に調剤併設型ドラッグストア店舗での豊富な実務経験を有する。また、大学や専門学校での講師経験も経て現在に至る、実務家教員である。
目的	登録販売者試験に合格する学力を身につけるため、教科書の基本的な知識を定着させることを目的とする。
科目概要	登録販売者試験で出題される、「試験問題の作成に関する手引き(令和4年3月)」のうち、主な医薬品とその作用について学習するものである。登録販売者試験に合格できるよう、動画による予習・復習をおこなってください。
到達目標	主な医薬品とその作用について説明できる。薬が働く仕組みを説明できる。主な副作用にはどのようなものがあり、対処・対応が説明できる。人体の働きと医薬品の作用を関連付けて説明できる
評価方法	定期試験および臨時試験（論文・レポート・小テストを含む）、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験　□口頭試験　□実技試験　□その他（　　）

教科書	登録販売者試験対策テキスト	事前事後学習とその内容	動画を中心に、予習と復習を実施すること。
参考図書	なし		
特記事項	なし		

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1・2	オリエンテーション	講義	登録販売者試験の概要と登録販売者試験対策のオリエンテーション
3・4	登録販売者試験対策	講義	主な医薬品とその作用①
5・6	登録販売者試験対策	講義	主な医薬品とその作用②
7	登録販売者試験対策	講義	主な医薬品とその作用③
8	中間テスト		
9・10	登録販売者試験対策	講義	主な医薬品とその作用④
11・12	登録販売者試験対策	講義	主な医薬品とその作用⑤
13・14	登録販売者試験対策	講義	主な医薬品とその作用⑥
15	定期試験		

科目名	登録販売者試験対策講座Ⅱ	年次	1	必修科目	実務経験	科目責任者	中村麻美
		授業形態	講義		有		
（英）	Registered Pharmaceutical Vendor License Examination Preparation Ⅱ	時間数	90	授業回数	45	開講区分	前期
学科・コース	登録販売者学科	単位	6			曜日/時間	金曜1，2時限（木曜1,2限）

講師紹介	【中村】 滋慶学園グループ校を卒業後、登録販売者としてドラッグストアで医薬品・健康相談に従事している実務経験豊富な講師である。医薬品の基礎知識を習得する授業を行う。 【成田】 大学卒業後、ドラッグストアに就職し、調剤とOTCの両方の経験。現在は、調剤薬局で薬剤師として勤務する実務家教員である。現場での経験を活かし「イメージしやすい」をモットーに登録販売者試験合格に向けて、学生と一緒に成長できるよう努力している。
目的	登録販売者試験に合格する学力を身につけるため、教科書の基本的な知識を定着させることを目的とする。
科目概要	登録販売者試験で出題される、「試験問題の作成に関する手引き(令和4年3月)」に則って、医薬品に共通する特性と基礎知識、、人体の働きと医薬品、主な医薬品とその作用、薬事関連法規制度、医薬品の適正使用安全対策について、試験対策授業をおこなう。
到達目標	登録販売者試験に合格する学力を身につけるため、教科書の基本的な知識を定着させることを目的とする。
評価方法	定期試験および臨時試験（論文・レポート・小テストを含む）、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験　□口頭試験　□実技試験　□その他（　　）

教科書	登録販売者試験対策テキスト	事前事後学習とその内容	動画を中心に、予習と復習を実施すること。
参考図書	なし		
特記事項	なし		

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1・2	登録販売者試験対策	講義	登録販売者試験対策　医薬品に共通する特性と基礎知識、医薬品の適正使用＆安全対策①
3・4	登録販売者試験対策	講義	登録販売者試験対策　医薬品に共通する特性と基礎知識、医薬品の適正使用＆安全対策②
5・6	登録販売者試験対策	講義	登録販売者試験対策　医薬品に共通する特性と基礎知識、医薬品の適正使用＆安全対策③
7・8	登録販売者試験対策	講義	登録販売者試験対策　医薬品に共通する特性と基礎知識、医薬品の適正使用と安全対策④
9・10	登録販売者試験対策	講義	登録販売者試験対策　医薬品に共通する特性と基礎知識、医薬品の適正使用と安全対策⑤
11・12	登録販売者試験対策	講義	登録販売者試験対策　医薬品に共通する特性と基礎知識、医薬品の適正使用と安全対策⑥
13・14	登録販売者試験対策	講義	登録販売者試験対策　医薬品に共通する特性と基礎知識、医薬品の適正使用と安全対策⑦
15・16	登録販売者試験対策	講義	登録販売者試験対策　ポイント復習
17・18	登録販売者試験対策	講義	登録販売者試験対策　ポイント復習
19・20	登録販売者試験対策	講義	登録販売者試験対策　ポイント復習
21・22	登録販売者試験対策	講義	登録販売者試験対策　ポイント復習
23・24	登録販売者試験対策	講義	模擬試験①　理解度判定テスト
25・26	登録販売者試験対策	講義	登録販売者試験対策　まとめ
27・28	登録販売者試験対策	講義	模擬試験②　実力判定テスト
29・30	登録販売者試験対策	講義	登録販売者試験対策　まとめ
31・32	登録販売者試験対策	講義	登録販売者試験対策　まとめ
33・34	登録販売者試験対策	講義	模擬試験③　実力判定テスト
35・36	登録販売者試験対策	講義	登録販売者試験対策　まとめ
37・38	登録販売者試験対策	講義	登録販売者試験対策　まとめ
39・40	登録販売者試験対策	講義	登録販売者試験対策　まとめ
41・42	登録販売者試験対策	講義	模擬試験④　実力判定テスト
43・44	登録販売者試験対策	講義	登録販売者試験対策　まとめ
45	登録販売者試験対策	講義	登録販売者試験対策　まとめ

科目名	登録販売者試験対策講座Ⅲ	年次	1	必修科目	実務経験	科目責任者	渡邉隆
		授業形態	講義		有		
（英）	Registered Pharmaceutical Vendor License Examination Preparation Ⅲ	時間数	90	授業回数	45	開講区分	前期
学科・コース	登録販売者学科	単位	6			曜日/時間	月曜・水曜1，2時限

講師紹介	【渡邉】 薬剤師としてドラッグストアに併設されている薬局に勤務し豊富な実務経験を有する。、調剤業務や服薬指導に携わる一方、一般用医薬品の販売も積極的におこない、登録販売者へのアドバイスをおこなっている、実務教員である。 【中村】 滋慶学園グループ校を卒業後、登録販売者としてドラッグストアで医薬品・健康相談に従事している実務経験豊富な講師である。医薬品の基礎知識を習得する授業を行う。
目的	登録販売者試験に合格する学力を身につけるため、教科書の基本的な知識を定着させることを目的とする。
科目概要	登録販売者試験で出題される、「試験問題の作成に関する手引き(令和4年3月)」のうち、主な医薬品とその作用、人体の働きと医薬品について学習するものである。登録販売者試験に合格できるよう、動画による予習・復習をおこなってください。
到達目標	主な医薬品とその作用について説明できる。薬が働く仕組みを説明できる。主な副作用にはどのようなものがあり、対処・対応が説明できる。人体の働きと医薬品の作用を関連付けて説明できる
評価方法	定期試験および臨時試験（論文・レポート・小テストを含む）、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験　□口頭試験　□実技試験　□その他（　　）

教科書	登録販売者試験対策テキスト（じほう）	事前事後学習とその内容	事前に配信予定の過去問題を解答しておくこと
参考図書	なし		
特記事項	なし		

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1・2	登録販売者試験対策　過去問題解説①	講義	登録販売者試験で過去に出題された問題を詳細に解説する
3・4	登録販売者試験対策　過去問題解説②	講義	登録販売者試験で過去に出題された問題を詳細に解説する
5・6	登録販売者試験対策　過去問題解説③	講義	登録販売者試験で過去に出題された問題を詳細に解説する
7・8	登録販売者試験対策　過去問題解説④	講義	登録販売者試験で過去に出題された問題を詳細に解説する
9・10	登録販売者試験対策　過去問題解説④	講義	登録販売者試験で過去に出題された問題を詳細に解説する
11・12	登録販売者試験対策　過去問題解説④	講義	登録販売者試験で過去に出題された問題を詳細に解説する
13・14	登録販売者試験対策　過去問題解説⑤	講義	登録販売者試験で過去に出題された問題を詳細に解説する
15・16	登録販売者試験対策　過去問題解説⑥	講義	登録販売者試験で過去に出題された問題を詳細に解説する
17・18	登録販売者試験対策　過去問題解説⑦	講義	登録販売者試験で過去に出題された問題を詳細に解説する
19・20	登録販売者試験対策　過去問題解説⑧	講義	登録販売者試験で過去に出題された問題を詳細に解説する
21・22	登録販売者試験対策　過去問題解説⑨	講義	登録販売者試験で過去に出題された問題を詳細に解説する
23・24	中間テスト		
25・26	登録販売者試験対策　過去問題解説⑫	講義	登録販売者試験で過去に出題された問題を詳細に解説する
27・28	登録販売者試験対策　過去問題解説⑬	講義	登録販売者試験で過去に出題された問題を詳細に解説する
29・30	登録販売者試験対策　過去問題解説⑭	講義	登録販売者試験で過去に出題された問題を詳細に解説する
31・32	登録販売者試験対策　過去問題解説⑭	講義	登録販売者試験で過去に出題された問題を詳細に解説する
33・34	登録販売者試験対策　過去問題解説⑭	講義	登録販売者試験で過去に出題された問題を詳細に解説する
35・36	登録販売者試験対策　過去問題解説⑭	講義	登録販売者試験で過去に出題された問題を詳細に解説する
37・38	登録販売者試験対策　過去問題解説⑭	講義	登録販売者試験で過去に出題された問題を詳細に解説する
39・40	登録販売者試験対策　過去問題解説⑭	講義	登録販売者試験で過去に出題された問題を詳細に解説する
41・42	登録販売者試験対策　過去問題解説⑭	講義	登録販売者試験で過去に出題された問題を詳細に解説する
43・44	定期試験		
45	登録販売者試験対策　過去問題解説⑭	講義	登録販売者試験で過去に出題された問題を詳細に解説する